

第4章

リーディングプロジェクト 及び主体別行動指針

- 1．リーディングプロジェクトの設定
- 2．リーディングプロジェクトの展開
- 3．住民・事業者・行政等の環境保全に対する行動指針

第4章 リーディングプロジェクト及び主体別行動指針

1. リーディングプロジェクトの設定

(1) リーディングプロジェクトの位置づけ

各施策の達成に向けて、第3章で掲げた施策を全面的に展開していきますが、施策推進の方向を象徴し、環境施策全般をリードする取り組みとして、次の3つのプロジェクトと9つの取り組み内容を推進していきます。

このリーディングプロジェクトについては、環境審議会委員1人ひとりが意見を出し合い、協議の結果設定されたものとなっています。確実な施策の達成に向け、身近な日常生活において取り組めるとともに、他の取り組みに波及効果が期待できるものとなっています。また、住民及び各種団体・事業者・行政等が協働して取り組むことができるものとして、主体を明らかにし、目標指標を設定するなど、実現可能な取り組み内容となっています。

なお、環境行政の情勢の変化に対応するため、環境基本計画の改定にかかわらず、必要に応じて推進項目の見直しを行い、基本目標への反映に努めることとします。

(2) リーディングプロジェクトの内容

上記の視点から、次の3項目を「リーディングプロジェクト」として取り組みます。

プロジェクト名	取り組み内容
地球温暖化防止・ 低炭素社会づくり	環境にやさしい商品購入、省エネ・省資源の取り組み
	緑のカーテン取り組みの推進
	再生可能エネルギーへの取り組み

プロジェクト名	取り組み内容
資源循環型社会づくり	4R運動の推進
	フリーマーケットの開催
	不法投棄の撲滅

プロジェクト名	取り組み内容
生きものや自然との 共生づくり	水辺（川、海、ため池）の保全
	休耕田の利活用
	ふれあいの森づくり

2. リーディングプロジェクトの展開

(1) “地球温暖化防止・低炭素社会づくり” プロジェクト

ねらい

一人ひとりが身近な家庭生活や事業活動から、CO₂削減に取り組んでいただくため、家庭の中でできる省エネ活動の実行や新エネルギー等の導入をめざすなど、各種団体・事業者等と連携し、温暖化の防止・低炭素社会づくりの実践を行います。

推進のための取り組み

環境にやさしい商品購入、省エネ・省資源の取り組み
 緑のカーテン取り組みの推進
 再生可能エネルギーへの取り組み

プロジェクト名

プロジェクト名	主体別役割				取り組み時期		
	住民	事業者	行政	みんな	前期	中期	後期
環境にやさしい商品購入、省エネ・省資源の取り組み							
目標指標名及び根拠・算式等	基準年度 (平成 21 年度)		基準年度 (平成 27 年度)		目標年度 (平成 32 年度)		
取り組み啓発回数			2 回		2 回		

プロジェクト名	主体別役割				取り組み時期		
	住民	事業者	行政	みんな	前期	中期	後期
緑のカーテン取り組みの推進							
目標指標名及び根拠・算式等	基準年度 (平成 21 年度)		基準年度 (平成 27 年度)		目標年度 (平成 32 年度)		
緑のカーテン推進啓発回数	1 回		2 回		2 回		

プロジェクト名	主体別役割				取り組み時期		
	住民	事業者	行政	みんな	前期	中期	後期
再生可能エネルギーへの取り組み							
目標指標名及び根拠・算式等	基準年度 (平成 21 年度)		基準年度 (平成 27 年度)		目標年度 (平成 32 年度)		
住宅用太陽光発電システム設置件数	200 件		1,300 件		2,700 件		

「 」は中心主体・強化時期、「 」は協働主体・継続時期。
 前期は約 3 年、中期は約 5 年、後期は約 10 年。

(2) “資源循環型社会づくり” プロジェクト “

ねらい

一人ひとりがライフスタイルを再考し、身近な生活の中でできることを実践し、積み重ねていくことにより、持続可能な社会の構築をめざしたプロジェクトに取り組みます。町内で活動するすべての人が協力し合い、循環型社会を実現します。

推進のための取り組み

4 R 運動の推進

フリーマーケットの開催

不法投棄の撲滅

プロジェクト名

プロジェクト名	主体別役割				取り組み時期		
	住民	事業者	行政	みんな	前期	中期	後期
4R 運動の推進							
目標指標名及び根拠・算式等	基準年度 (平成 21 年度)		基準年度 (平成 27 年度)		目標年度 (平成 32 年度)		
リサイクル率 資源化量 / ゴミ排出量 + 集団回収量	21%		25%		27%		

プロジェクト名	主体別役割				取り組み時期		
	住民	事業者	行政	みんな	前期	中期	後期
フリーマーケットの開催							
目標指標名及び根拠・算式等	基準年度 (平成 21 年度)		基準年度 (平成 27 年度)		目標年度 (平成 32 年度)		
フリーマーケット開催回数	2 回		4 回		6 回		

プロジェクト名	主体別役割				取り組み時期		
	住民	事業者	行政	みんな	前期	中期	後期
不法投棄の撲滅							
目標指標名及び根拠・算式等	基準年度 (平成 21 年度)		基準年度 (平成 27 年度)		目標年度 (平成 32 年度)		
不法投棄ごみ処理件数	30 件		20 件		15 件		

「 」は中心主体・強化時期、「 」は協働主体・継続時期。
前期は約 3 年、中期は約 5 年、後期は約 10 年。

(3) “生きものや自然との共生づくり” プロジェクト

ねらい

地球の環境を考える上で最も重要な水を守るために、水を生みだす森から、水を運ぶ川、豊かな資源を育てる海までの地域が一体となった自然環境保全に取り組みます。

播磨ふれあいの家「多々良木山荘」がある朝来市で山林を借り、手入れ作業を通じてさまざまな自然体験をすることにより自然の大切さを認識する環境教育の場として利用していくほか、休耕田やため池を活用し、生物多様性に配慮した播磨町にふさわしいビオトープづくりなどを通じて、住民の環境学習への参加を促します。

推進のための取り組み

水辺（川、海、ため池）の保全
休耕田の利活用
ふれあいの森づくり

プロジェクト名

プロジェクト名	主体別役割				取り組み時期		
	住民	事業者	行政	みんな	前期	中期	後期
水辺(川、海、ため池)の保全							
目標指標名及び根拠・算式等	基準年度 (平成 21 年度)		基準年度 (平成 27 年度)		目標年度 (平成 32 年度)		
清掃活動参加者数 河川・ため池・海岸の清掃に参加 している延べ人数	1,000 人		1,500 人		2,000 人		

プロジェクト名	主体別役割				取り組み時期		
	住民	事業者	行政	みんな	前期	中期	後期
休耕田の利活用							
目標指標名及び根拠・算式等	基準年度 (平成 21 年度)		基準年度 (平成 27 年度)		目標年度 (平成 32 年度)		
休耕田の利用箇所数	1 ヶ所		5 ヶ所		10 ヶ所		

プロジェクト名	主体別役割				取り組み時期		
	住民	事業者	行政	みんな	前期	中期	後期
ふれあいの森づくり							
目標指標名及び根拠・算式等	基準年度 (平成 21 年度)		基準年度 (平成 27 年度)		目標年度 (平成 32 年度)		
ふれあいの森における環境保全活 動及び環境学習回数			4 回		12 回		

「 」は中心主体・強化時期、「 」は協働主体・継続時期。
前期は約 3 年、中期は約 5 年、後期は約 10 年。

3 . 住民・事業者・行政等の環境保全に対する行動指針

本計画は、住民・事業者・各種団体・行政の各主体が、それぞれの立場に応じた役割を十分認識し、自らまたは協働して進めます。

住民の役割

環境保全に関わる取り組みや環境教育・学習に積極的に参加します。

環境に配慮した日常生活に努めます。

環境を守り育てる活動に積極的に参加します。

事業者の役割

環境に配慮した事業活動を展開します。

地域の各主体と協働して、環境保全に関わる取り組みに参加、支援します。

環境に関する人材の育成や情報の提供などを行います。

行政の役割

あらゆる分野において、環境に関する施策を立案・実施するため、政策推進マネジメントシステムへ環境的視点を導入します。

国・県・町は、緊密な連携のもと本計画の環境施策の展開を図ります。

率先的に各主体間のパートナーシップを形成します。

環境に関わる各種情報の収集整理・提供、調査・研究、人材の育成・活用といった環境配慮の基盤づくりを行います。

事業者としての立場から、率先して環境に配慮した事業活動を行います。

みんなの役割

各主体がそれぞれの立場で、自らの役割と責任に応じて、積極的かつ自主的に取り組みます。

各主体が情報の共有・活動の連携を図るなど、協働の視点で環境施策の推進を行います。

